

JAPSW発第09-345号
2010年3月1日

日本司法書士会連合会
会長 細田長司様

社団法人日本精神保健福祉士協会
会長 竹中秀彦

「精神保健と社会的取組の相談窓口の連携に係る調査」 への協力について（お願い）

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本協会事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本協会では、今年度、国立精神・神経センターより委託を受けまして「平成21年度精神保健と社会的取組の相談窓口の連携のための調査委託事業」（以下「本事業」という。）に取り組んでおります。本事業は、自殺予防に関する包括的相談支援の推進に資することを目的として、精神保健福祉士と司法書士の相談事例データ等を精査し、双方が活用できる「自殺予防の手引き（仮称）」作成のための基礎的資料の集積を行うこととしております。

今般、本事業の一環としまして、司法書士への質問紙による調査（別添）を実施する運びとなりました。調査の対象者は、貴連合会のご協力をいただき、都道府県司法書士会の理事から抽出された500人になります。調査の実施には、個人名および所属機関名は無記名とし、結果は統計的に処理させていただきます。ご協力をいただいた方々にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

つきましては、下記の日程で実施させていただきますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、ご不明な点ございましたら、事務局までお問い合わせいただければ幸いです。

記

[質問紙発送（予定）日] 2010年3月10日（水）

[質問紙回収締切日] 2010年3月24日（水）

JAPSW発第09-346号
2010年3月10日

司法書士の皆様

社団法人日本精神保健福祉士協会
会長 竹中秀彦 [公印略]

「精神保健と社会的取組の相談窓口の連携のための調査」 への協力をお願い

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本協会事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本協会では、今年度、国立精神・神経センターの委託を受けまして「平成21年度精神保健と社会的取組の相談窓口の連携のための調査委託事業」（以下「本事業」という。）に取り組んでおります。本事業は、自殺予防に関する包括的相談支援の推進に資することを目的として、精神保健福祉士と司法書士の相談事例データ等を精査し、双方が活用できる「自殺予防の手引き（仮称）」作成のための基礎的資料の集積を行うこととしております。

標記の「精神保健と社会的取組の相談窓口の連携のための調査」（以下「調査」という。）の対象者は、日本司法書士会連合会の協力を得て本協会が全国都道府県司法書士会の理事500人を抽出させていただいております。調査の実施には、個人名および所属機関名は無記名とし、結果は統計的に処理させていただきます。ご協力をいただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご回答をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

何かとご多用の時期かと存じますが、**本年3月24日（水曜日）まで**に同封の返信用封筒にて、本協会事務局宛にご返送ください（大変恐縮ですが、集計作業等の都合上、ファックス、Eメール等での返送はご遠慮ください）。

なお、本調査の集計分析結果は、国立精神・神経センターに報告書として提出するほか、日本司法書士会連合会にもご報告させていただく予定です。

何卒ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。